

35 回生の臨時休校中の劇表現課題

コロナ終息の願いむなしく、新学期も臨時休校が続きます。これからどうなるのか、とても不安に感じている人も多いことでしょう。人と人がお互いを感じつつ、直接向き合う演劇。今、そのことが病気を拡大させてしまうかもしれないという悲しい状況になってしまいました。もしかしたら、35 回生にとっては初めて味わう不自由かもしれません。自由に動き、楽しむことの大切さ・幸せを、こんな形で実感することになるとは。

3 年生の卒業公演が延期となり、驚きとともに、もう、何が何だか悲しい気持ちになっている人もいるでしょう。学校の方で、今、いろいろなことを検討・調整していただいています。当事者の 3 年生の心に寄り添い、今は、慌てず、騒がず、自分がすべきことを考えましょう。

阪神淡路大震災の時も、もう、2 度とこんなひどいことは起きないでほしいと願ったものです。戦時中も幕を開け続けた劇場が扉を閉ざさざるを得ない非常事態。今を記録しておきましょう。2 度と経験したくはない状況ですが、ただ、流れていく時間に身を任せずに、自覚的に記録して、自分の心と対話してください。言葉を紡ぎ、何を感じているかを自覚してください。書かなければ、考えていないのと同じことです。

課題その 1 ○○日記

腹筋や背筋、スクワットなどの回数とともに、1 日 1 日を記録する。行動記録ではなく、心の記録。ただし、他人が読むので、プライベートな日記とは別物。日本には、日記文学がありますね。(土佐日記・蜻蛉日記・和泉式部日記をはじめ最近ではブログも日記の一種)読み物として、どういう切り口(例えば、空のことを中心に、食べ物を中心に、弟のこと、猫になって、カメムシの目から見る、などなど)で、心を記録していくかを考え書いて下さい。4 月 8 日、今日から始めましょう。

課題その2 喋らず接触せずしっかり身体を動かすゲームを考える
これはとても楽しい創造作業。なんとなくではなく、ひとりで試したり、ご家族の協力を仰いだりして、作ってください。決して、演劇科の友人と顔を合わせて試してみようなどと考えるはいけません。このことこそが厳に慎むことです。電話や無料通話など便利なツールを使って、複数人でアイデアを共有して、共同作にすることもオッケー。全員で大笑いしながら真剣勝負できる日を楽しみに作ってください。

課題その3 卒業公演の原作を選ぶ

- ① いろんなジャンル・時代・国の戯曲を10本選ぶ。
- ② 10本を読み、それぞれ気になった台詞を3つ選び、なぜ気になったかを100字程度で書く。決してウキペディアの解説を書き写さないこと。
- ③ 10本のうちから、卒業公演の原作にしたい戯曲を3本選ぶ。特にお勧めの1本について、①どんな時代か ②どんな場所か ③戯曲の背景(なぜこの戯曲は書かれたのか) ④登場人物の特徴 ⑤どんな事件が起きて、どう解決したかをレポートにする。各項目ともに200字以上書くこと。

他の教科も課題が出るとは思いますが、コミュニケーションを取りながら進める課題は劇表現くらいでしょうから、楽しんで仕上げてください。授業が再開できたら、ゲーム大会で大笑いしましょう。そのためにも、気を緩めずに、しっかりとステイホーム！ 私たちにできる最大のことは、ステイホーム！

日々、命と壮絶な戦いをされている人々に感謝して、来るべき日に向けて、心と体を鍛え、成長出来た自分に出会いましょう。